

大和市からの長期借入金について（11月補正予算）

本院は、今年度末に保有する現金残高がマイナスとなる見込みであることから、市の一般会計から10億円を長期借入する補正予算を11月議会に上程します。

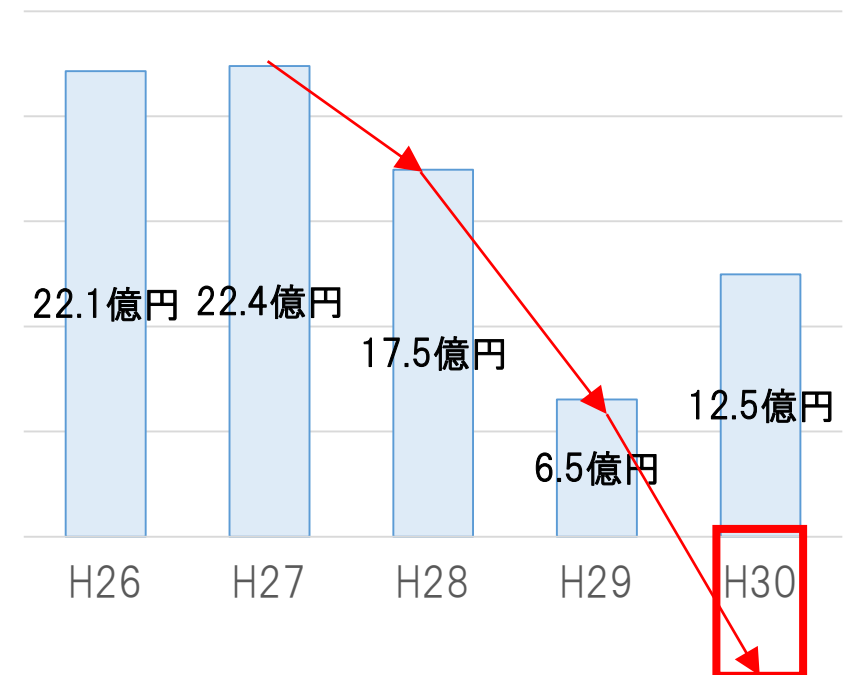
（長期借入金が必要となった背景）

- ① 公立病院の経営は全国的な傾向として、診療報酬の減額改定や人件費の高騰などの影響を受け、非常に厳しい経営状況に置かれています。本院におきましても、平成28年度以降、3期連続の赤字決算となり、現金の確保が難しい状況となっています。
- ② このような経営状況下ではありますが、地域の基幹病院として、良質かつ適切な医療サービスが適切にできるよう、これまで計画的に施設や設備の整備を行ってきました。

厳しい経営状況（①）の中、必要な未来への投資（②）が重なったことで、病院会計における現金が不足したことから、必要な資金を一般会計から借入れるものです。

なお、本院の現金残高は図のように推移してきました、H30以降は実質的には既に現金残高が不足する状況にありました。

現金残高推移



信頼される地域の基幹病院としてあり続けるために

